

TOKAI RIKAI GROUP 2015 VISION

 TOKAI RIKAI

株式会社 東海理化

〒480-0195 愛知県丹羽郡大口町豊田三丁目260番地
Tel. (0587)95-5211 Fax. (0587)95-1917

 TOKAI RIKAI

R100



この冊子は環境に配慮し、再生紙
を使用しています。印刷には植物
性大豆油インキを使用しています。



2015年の東海理化グループを、想像したことがありますか。

私たちは、新たな道標のもと、業界トップという理想に向けて、力強くジャンプアップしていきます。

"TOKAI RIKA 2010 VISION"の策定から5年。社会環境や経済情勢は、予想を上回る速さで変化してきました。

これまで私たちは、お客様や株主をはじめすべてのステークホルダーの方々に支えられ、技術開発、モノづくり力強化、グローバル拡充などを推し進め、事業規模・領域ともに飛躍的に拡大してきました。2010 VISIONで掲げた“期待されるグローバル企業への成長”は、その目標に手が届くところに到達し、さらなる飛躍のポジションに立てたと考えます。

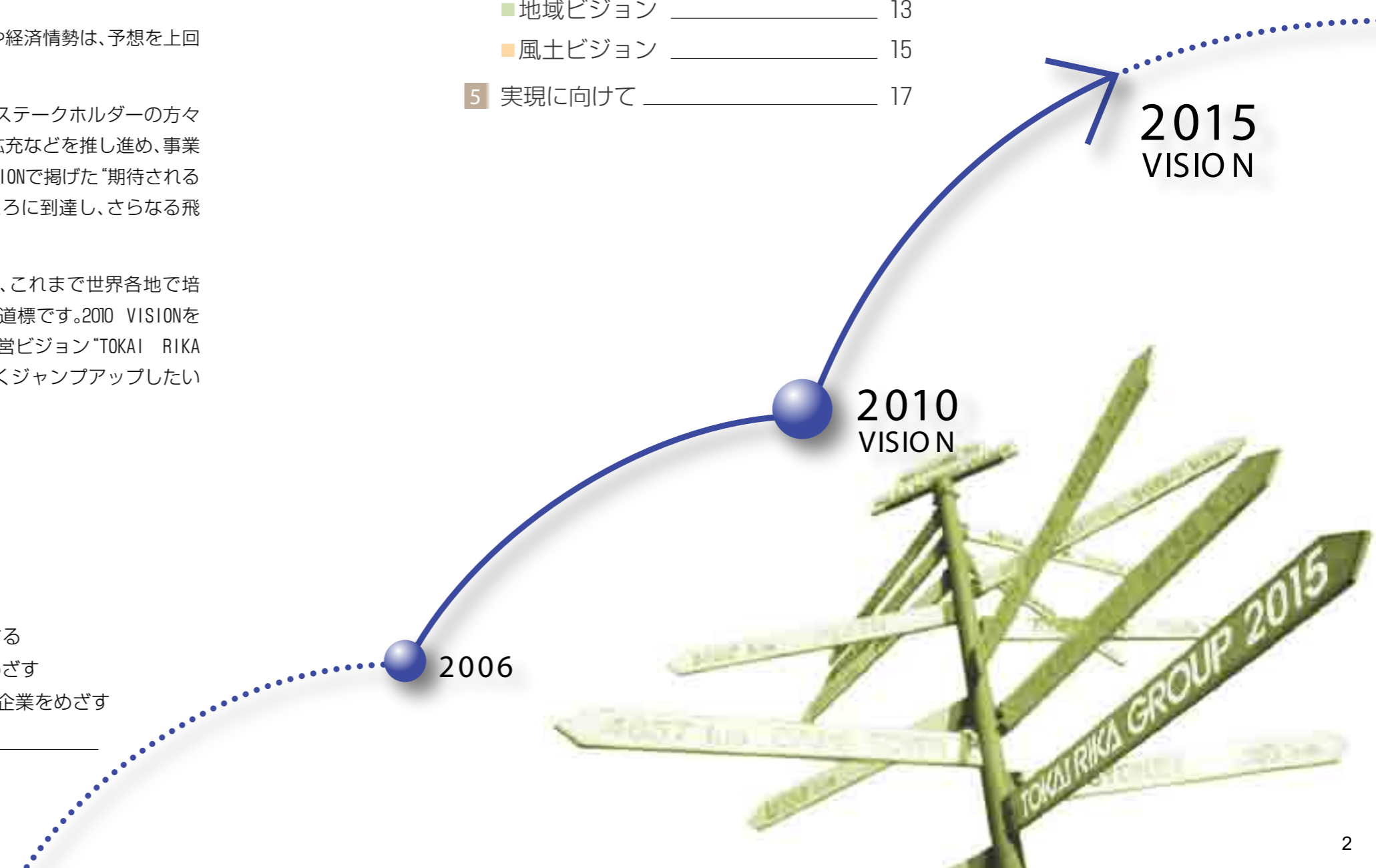
そこで今、私たち「東海理化グループ」に必要なのは、これまで世界各地で培ってきた力をさらに育み、より確かなものとするための道標です。2010 VISIONを継承・進化させ、時代の大きな変化に対応する新たな経営ビジョン“TOKAI RIKA GROUP 2015 VISION”を掲げ、業界トップに向けて力強くジャンプアップしたいと考えます。

経営理念

- 1 お客様に喜ばれる商品を創造し、豊かな社会づくりに貢献する
- 2 個性とチャレンジ精神を尊重し、若さと夢あふれた企業をめざす
- 3 社会の一員として、法と倫理を遵守し自然・地域と共生する企業をめざす

CONTENTS

1	2015年への展望	3
2	2015年の目指す姿	5
3	テーマ実現に向けての進め方	7
4	ビジョン	
	■ 事業ビジョン	9
	■ 機能ビジョン	11
	■ 地域ビジョン	13
	■ 風土ビジョン	15
5	実現に向けて	17





2015 VISIONを策定するにあたって
私たちはまず、何を考えるべきでしょうか

時代の動きを的確に捉えた上で、
私たちのあるべき姿を再認識しましょう。

視野を広げ、将来を見通すと、私たちにはどんな時代が見えてくるでしょうか。

これからの時代は、地球環境や世界経済をはじめあらゆる問題が複雑にからみあひ、変化が加速していくものと考えられます。

私たちが関わる自動車産業では、技術革新がますます進み、新たな取り組みが始まっています。自然環境を改善していくクルマ、事故を未然に防止するクルマ、さらには「乗ると健康になる」クルマなど、新しいクルマづくりへの挑戦です。

こうした中、私たちは、企業の社会的責任の重大性を強く認識しながら、自分たちの強さ・弱さを十分に検証しなければなりません。

そして、「モノづくりは人づくり」を再認識し、たゆまぬ改善と感性・知性で、次世代創造にチャレンジしていきます。

企業の社会的責任 (CSR)

- 働く職場の「安全」がすべてに優先
- 企業価値の最大化と透明性の高い経営(コーポレートガバナンス)
 - 適時・適切な情報開示
 - 企業倫理(コンプライアンス)の徹底
 - グローバル経営にともなう多様なリスクへの対応
 - 事業全般における地球環境問題への積極対応
 - 地域発展・自然保護・人財育成など世界各地における社会貢献活動

社員・取引先

- 多様な国籍・民族で構成される人財と人間尊重の精神
- オープンでフェアな風土
- モノづくりは人づくり
改善・カイゼン・KAIZEN、高い志とやりぬく気概...

地球環境

- 地球環境維持・改善の重要性が増大
- 環境負荷物質低減・資源再利用活動が一層活発化
- 環境とエネルギーコスト増大に対応した技術革新の加速

社会・生活

- 世界人口の増加と先進国を中心とした少子高齢化による社会構造の変化

世界経済

- グローバル市場経済の定着と 加速化
- BRICsを中心とした経済の急成長
- 世界各地における自由貿易協定枠組みの進展

技術開発

- 環境・安全技術の急進
- IT革新の継続と生命技術の急進

自動車産業

- 高機能化と低コスト化の2つの潮流がグローバルに進展
- 地球環境・社会インフラとの調和と通商摩擦への対応
- ITS時代の本格化とコビキタスネットワークの拡大

お客様

- 「環境」「安全」「快適」「安心」の4大テーマの追求
- 高機能化と低コスト化を棲み分けた調達・生産・販売の世界最適化
- クルマ全体の視点に立った部品メーカーからの積極提案

たゆまぬ改善と感性・知性で次世代創造にチャレンジ

きたるべき私たちの到達点を明確に示しましょう。



私たち東海理化グループは、「時代を先取り、世界から求められるグローバル企業集団」へ飛躍し、世界から欠かすことのできない存在、オンリーワンの企業集団を目指します。

私たちの新しいビジョンは、何を目指し、どんな夢を分かち合うものなのでしょうか。

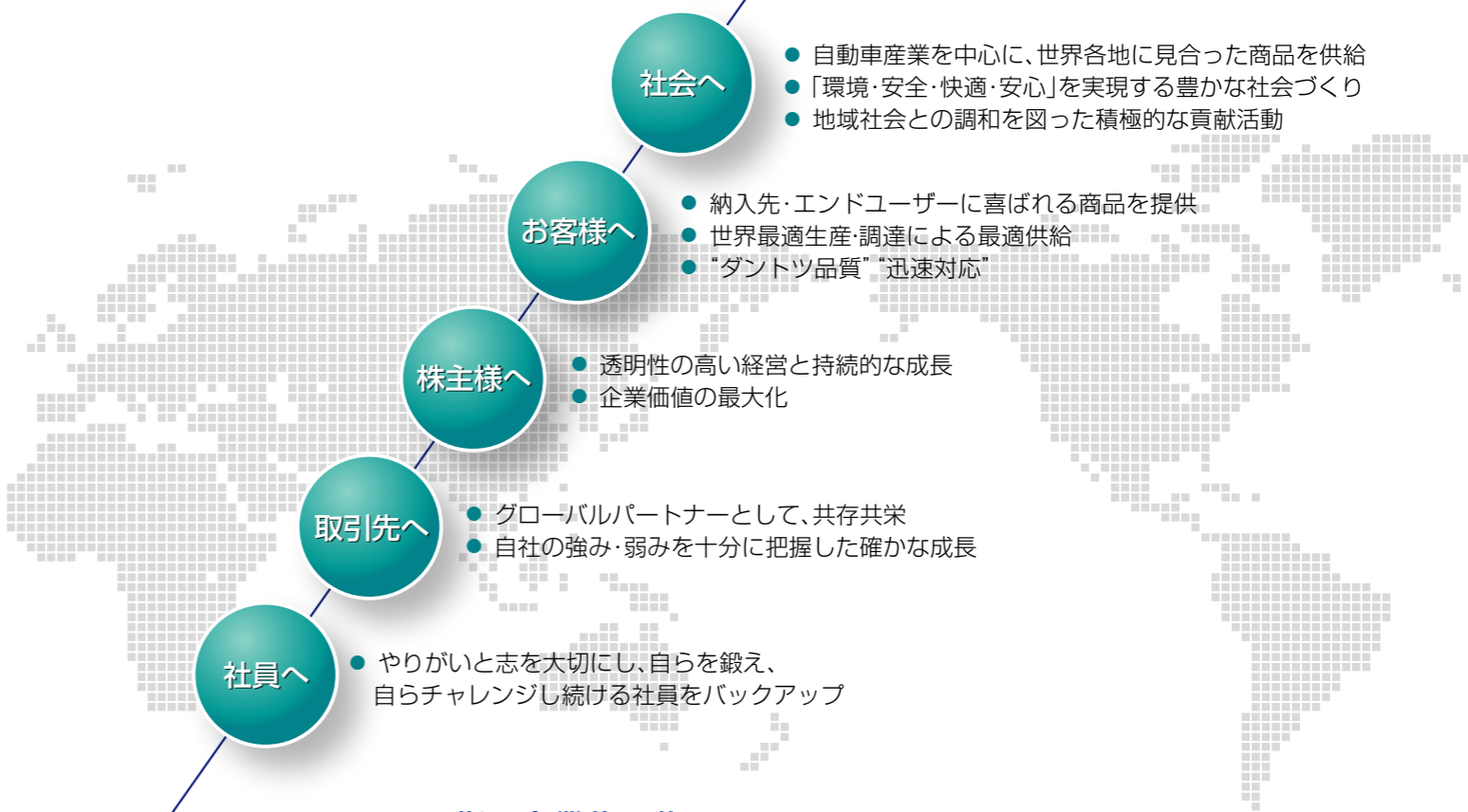
私たちの経営理念にある「お客様に喜ばれる商品を創造し、豊かな社会づくりに貢献する」。この不変的な理念を、2015年という時代にふさわしい理想像として描き出し、グループ一丸となって、自分たちの手で道を切り開いていかなければなりません。

グローバルに事業を展開する私たちの到達点は、単に世界各地へ進出・拡大することではなく、世界から欠かすことのできない存在、オンリーワンの企業集団として信頼されることです。

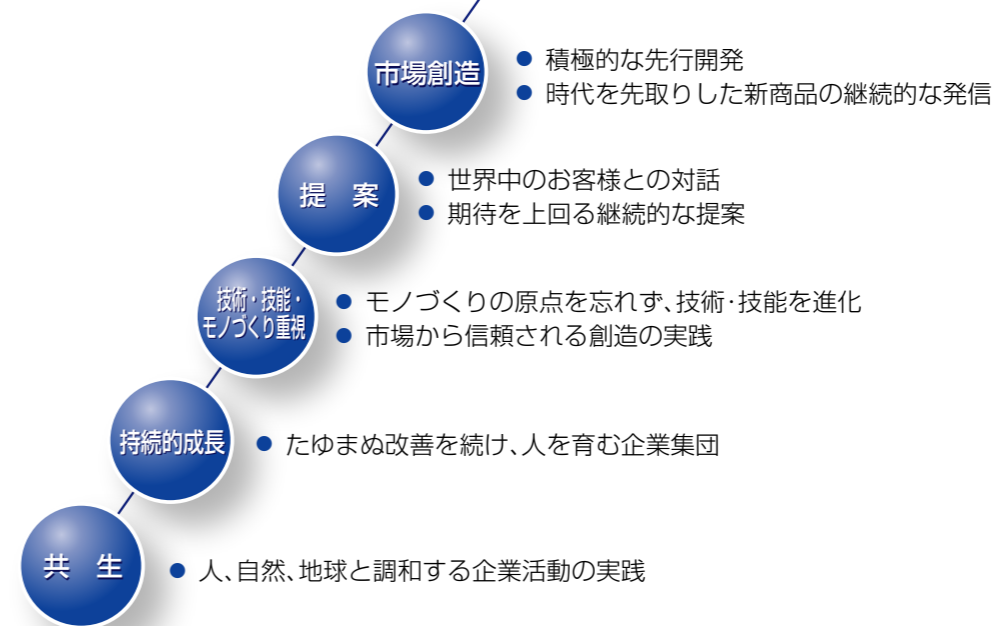
そのために私たちは、これまで培ってきた力をグループ全体の強みと再認識し、「時代を先取り、世界から求められるグローバル企業集団」を2015年の目指すべき姿として前進していきます。

時代を先取り、世界から求められる グローバル企業集団

ステークホルダーに向けて



目指す企業集団像





目標を達成するためには、
どのような進め方をすべきでしょうか。

「改善」「創造」「自律」「調和」をキーワードとして、
「事業」「機能」「地域」「風土」のビジョンを
実現していきます。

2015年の目指す姿を見出した私たちは、この目標を達成するための基本構想を明らかにしなければなりません。

それは、あらゆる仕事の質を高めていく「改善」、新しいモノづくりへの挑戦など時代を切り開く「創造」、自ら考え、鍛え、行動に責任を持つ「自律」、より多くの地域や分野を超えて連携を密にし、互いに成長し続ける「調和」の4つのキーワードを柱に、「事業」「機能」「地域」「風土」の各ビジョンを実現していくものです。

目指す姿の実現には、これらのキーワードをあらゆる職場で具体化し、グループの全社員が力を合わせ、心をひとつにして実践していくことが求められます。

私たちには、“人の和”を尊ぶDNAが脈々と流れています。創業以来、諸先輩が培ってきた価値観を次世代へと受け継ぎ、さらに研ぎ澄ませ、どのような状況でも自分たちの力を信じ、チームとなって目的地へ進んでいきます。

KAIZEN and Breakthrough with Confidence.
培ってきた力をさらに伸ばし、自信を持って進めていく。

目指す姿

キーワード

東海理化マインド



1 事業ビジョン

事業の方向性、モノづくりの姿勢はどうあるべきでしょうか。

人間工学から感性工学へと進化を遂げて、「使いやすさ」と「ぬくもり」に包まれた空間を具現化し、「より人間的に」「より感動的に」をかたちにしていきます。

今、時代が求めているのは、「環境・安全・快適・安心」です。

これまで私たちは、人がどのようにクルマを操作するかを研究し、「より心地よく、より安全に、より安心に」をテーマとした「人間工学」をコアテクノロジーとして発展させ、多様な技術・技能の複合・調整力を培ってきました。

これから私たちは、「より人間的に」「より感動的に」をかたちにするため、統合的なデザイン力をベースとした「感性工学」の領域への進化・躍進を目指します。

健康、なごみ、もてなし、楽しみといった感性をも具現化し、「使いやすさ」と「ぬくもり」に包まれた空間を創造していきます。

また、グローバル競争に勝ち抜くため、技術・技能のさらなる融合を図ることで、未来志向の商品開発、技術・生産技術開発を効率的かつスピーディに行うとともに、モノづくりの熟成を目指します。



「使いやすさ」と「ぬくもり」に包まれた空間を創造

コアテクノロジーの進化

モノづくりの姿勢



2 機能ビジョン

お客様に感動を与える品質や製品を提供するには、どのような企業力が求められるのでしょうか。

**私たちの強みである
「機動力」「柔軟力」「即時展開力」
をさらに発展させ、人と仕事の質の向上を
目指します。**

私たちが手がける製品は、機能だけでなく、見栄えやフィーリングといった人の感性・感覚に属する品質特性を持つものが多く、モノづくりは格段に難しいと考えています。

「品質」はすべての仕事の結果であり、よい結果を得るためには、プロセスでの“仕事の質”と、それを支える“人の質”を高めていくことが大切です。未然防止を徹底するなど、さらなるレベルアップを図っていきます。

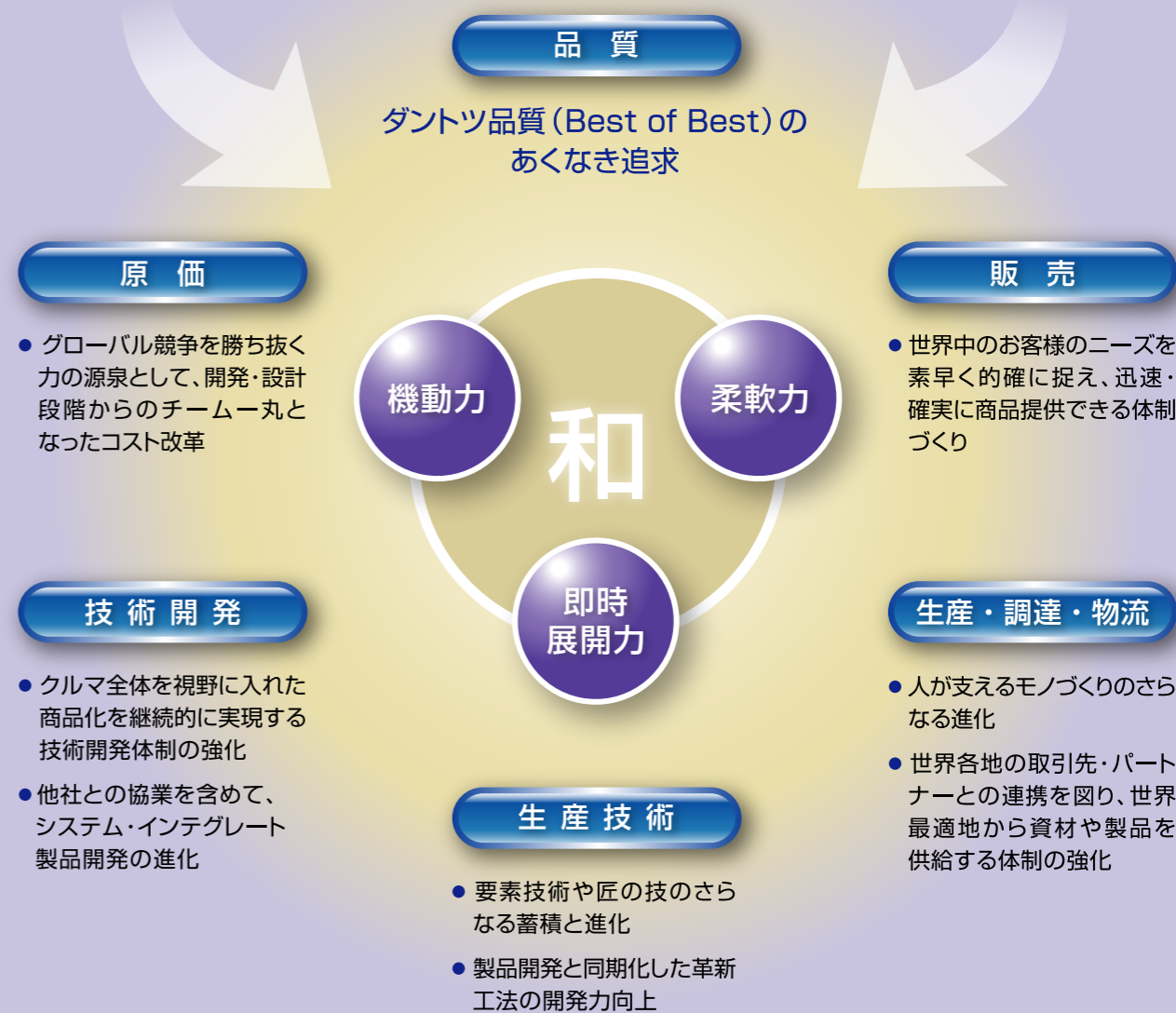
すべての質を高めていく上で、私たちには過去から培ってきた強みがあります。既成の組織や仕組みにとらわれず、状況や目的に応じて“人の和”を基盤に「機動力」「柔軟力」「即時展開力」を発揮できることです。この力をさらに発展させ、製品開発はもちろん生産、調達、販売などあらゆる面で質の向上を図っていきます。



世界のお客様に感動をあたえる品質・製品を提供

人の質向上

仕事の質向上



組織・マネジメント

- 開発段階から製品設計とモノづくりの連携・融合を実現する体制づくり
- 「改善→標準化・形式知化・IT化→改善」という、たゆまぬ改善への仕組みの整備
- 世界各地の人財育成の強化、訓練センター(ツールと教える人)の充実

3 地域ビジョン

真のグローバル企業集団となるためには、
どうすべきでしょうか。

**世界に広がる拠点の自律とシナジーを両立させた
グローバル経営を進めていきます。**

私たちが理想とするのは、世界に広がった各拠点がそれぞれに自律するとともに、全体でシナジーを生み出す世界最適化を目指したグローバル経営を行う企業集団です。

私たちは世界各地に製造・物流拠点を整備し、モノづくりを進めてきました。また、拠点間での供給など、それぞれの強みを生かした効率的な生産分担も進めています。

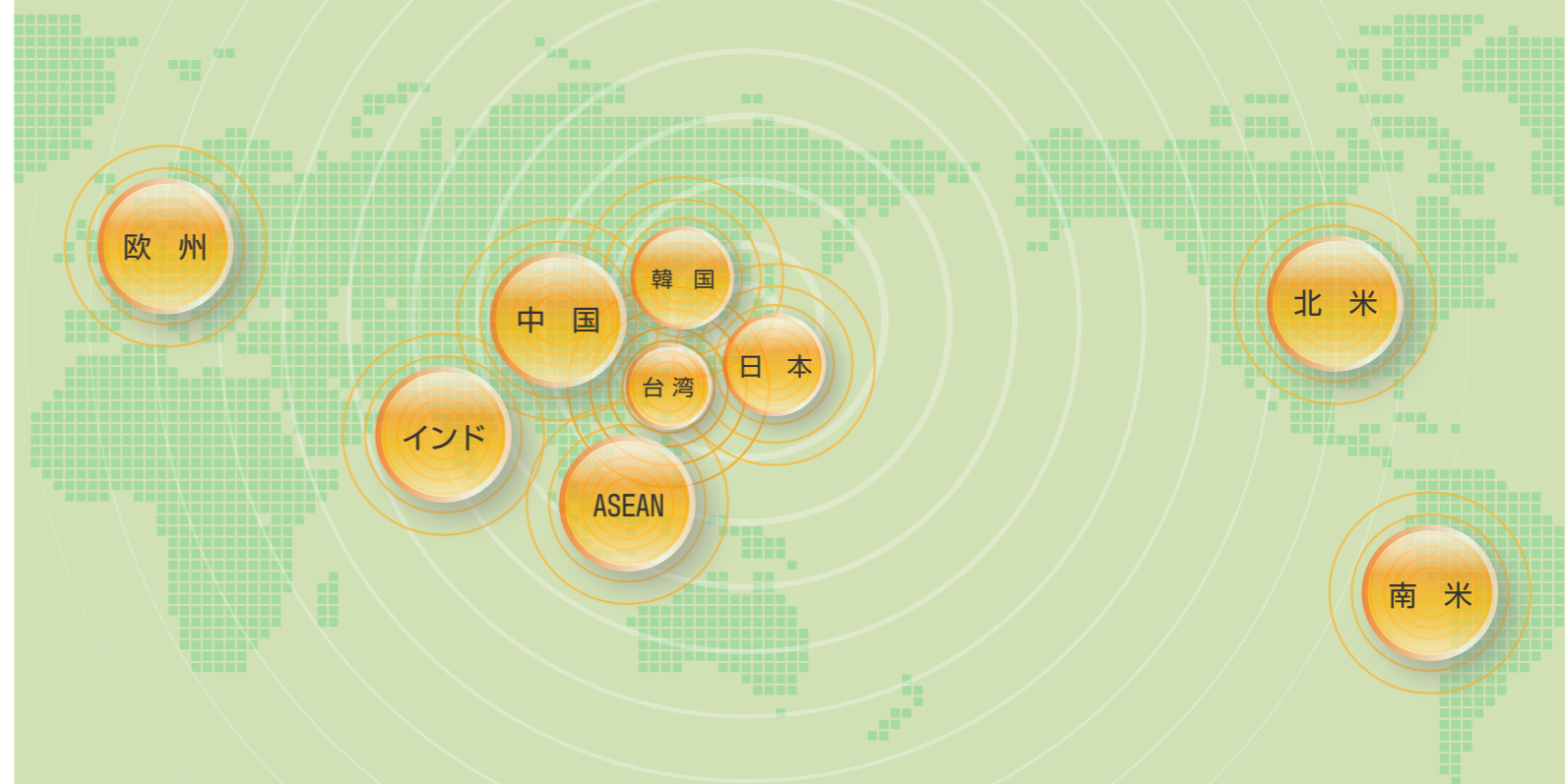
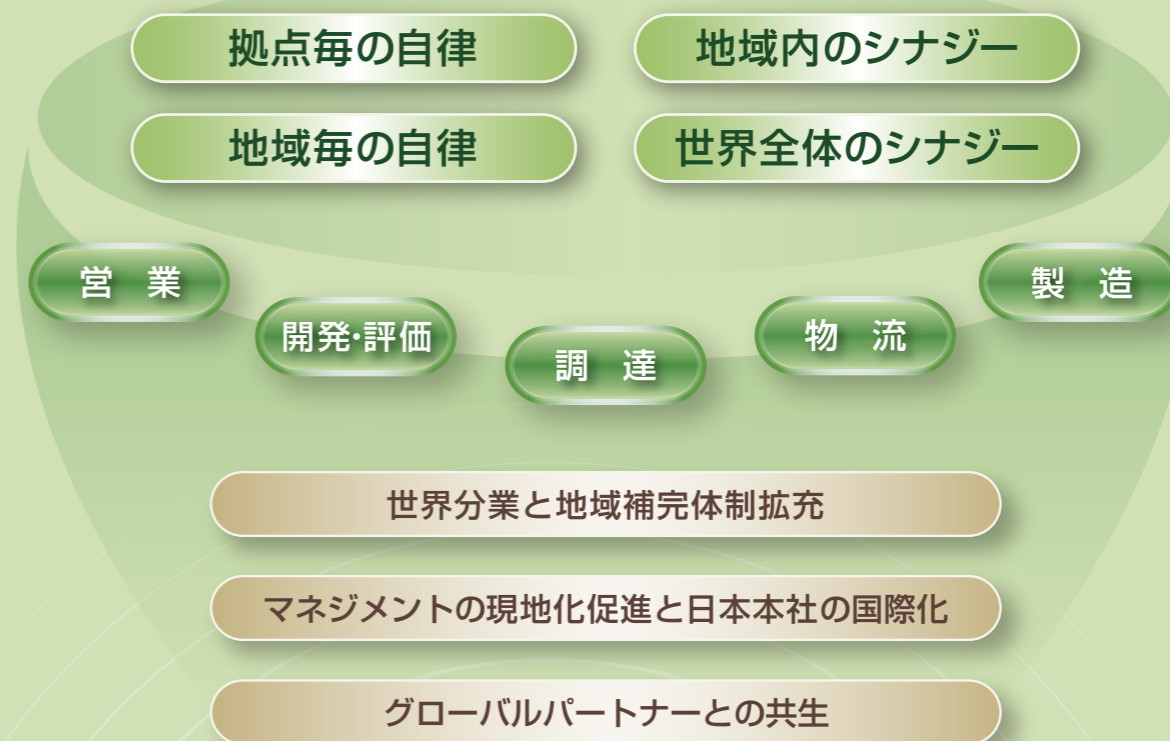
グローバル開発・評価体制も確立しつつあり、こうした世界分業と地域補完体制をさらに拡充していきます。

こうした中、世界各地でたゆまぬ改善がなされ、人が育つ土壌づくりに努めるとともに、各拠点間の連携強化、地域統括会社の機能充実など、地域密着型経営とグローバル経営の両立を目指します。

真のグローバル企業集団となるために、同じグループとして価値観を共有し、グローバル標準業務プロセスの確立・IT化などに積極的に取り組むとともに、ローカル経営者の拡充などによるマネジメントのさらなる現地化やグローバルパートナーとの共生を図っていきます。また、日本本社の国際化促進も積極的に進



自律とシナジーを両立、真のグローバル企業集団へ



4 風土ビジョン

私たちが守り育てるべき企業風土を、
改めて考えてみませんか。

**自ら考え・鍛え、チームで考え・育ち、
あきらめずにやりぬいていく企業集団で
ありたいと考えます。**

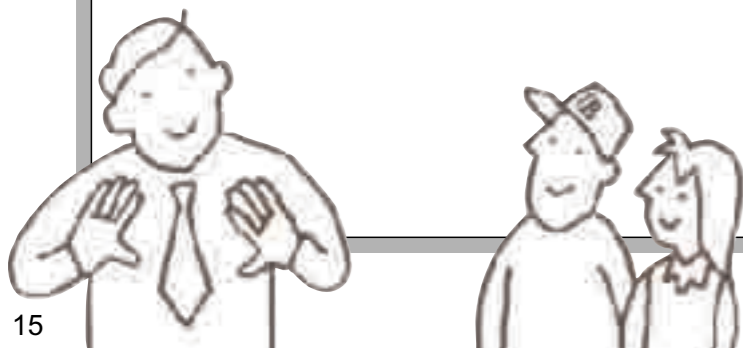
国の違いを越えた多様な個性と人間性を尊重し、オープンでフェアであり続けることは、すべてに優先される職場づくりの大前提です。

その上で、私たちは「正しいことを、正しくやり続けていく」ことを常に意識し、自ら考え、改善活動を実践していきます。こうした過程を通じて、すべての現場が強くなり、自分自身が鍛えられ、チームが成長し、組織能力も高まります。

仕事を進めるにあたっては、現地現物の実践、問題を顕在化させる「見える化」活動はもちろん、「まずやってみる」姿勢を大切に、ねばり強く、あきらめず、最後までやりきる。これらの積み重ねにより、改善力や創意工夫力を磨いていきます。

個人の枠や部門の壁を越えて、前後工程・関連部署の領域まで手を差しのべるリーチングアウト活動も重要です。

社員一人ひとりが常に「目指す姿」を見据え、そこに向かって努力を続ける。それによりグループ全体のレベルが飛躍的に向上していく。こうした風土を熟成・進化させていくことが、私たちの理想であると確信しています。



自己実現、人財育成、人間尊重、オープンでフェア



東海理化グループ全体の飛躍的なレベルアップ



業界トップへの道のりは、私たち自身が主役です。

2015年に向けたビジョンを描き出した私たちには、大きな可能性が広がっています。

全世界の社員が目標を共有し、新たなアクションを開始する。その先にあるのは、自分たちの手でつくりあげる夢のゴールです。

「時代を先取り、世界から求められるグローバル企業集団」への飛躍は、私たち自身の手ゆだねられています。世代を越えた行動の源泉とも言うべき価値観「東海理化マインド」を継承・発展させ、業界トップという理想に向かって、力強くジャンプアップしていきましょう。

東海理化マインド

技術者魂・技能者魂

- 常にエンドユーザーの立場に立ち、人間の五感に訴える機能・デザインに挑戦、信頼される商品を具現化してきた「技術者魂」
- モノづくりを支える数々の要素技術・生産技術を蓄積・進化させてきた「技能者魂」
- 技術者魂・技能者魂を融合させた新商

和

一人ひとりの個性を尊重し、多国籍でバラエティに富んだ人材が集う「風土」を大切にするとともに、ひとたび困難に出会った際には、一致団結して乗り越えてきた「社風」

愚直に、真面目にやり抜く

- モノづくりに携わる生産現場はもちろん、営業・設計・事務の現場など、すべての職場で改善を積み重ね、現地現物を徹底して、愚直に、真面目に、粘り強く、やりぬく「気風」

開拓精神

- 世界各地での事業開拓、自動車分野以外での事業展開など、諸先輩が果敢に挑んできた「精神」



1948年当時の東海理化(西枇杷島工場)



2015
VISION

私たちは
東海理化マインドを
継承・進化させ
ジャンプアップします